

NAPAを用いたアプリケーション開発(その3)
(研究開発関連)

成果報告書

2013年4月26日

(一社)日本造船工業会

NAPAを用いたアプリケーション開発 成果報告書

1. 開発目的
2. 開発体制
3. 開発項目
4. 会合実施状況
5. 会合での主要決定事項
6. 項目別開発実施期間報告
7. 開発の成果
8. 最終報告

1. 開発目的

ClassNK及び日本造船工業会のメンバーである造船所が共同でNapa社(フィンランド)製の設計用船舶性能計算ソフトウェアであるNAPAシステムをカスタマイズし、各社の造船設計者が性能計算等の基本設計業務改善及び円滑化推進のために開発を切望している機能を付加する。

2. 開発体制

① 研究参加者(2機関、11社)

- (一財)日本海事協会
- (一社)日本造船工業会
- 今治造船(株)
- 尾道造船(株)
- 川崎重工業(株)
- サノヤス造船(株)
- ジャパンマリンユナイテッド(株)
- (株)新来島どっく
- 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
- 常石造船(株)
- 内海造船(株)
- (株)名村造船所
- 三井造船(株)

② プログラム開発委託業者

Napa Group (Napa Ltd, Napa Japan, Napa India)

開発委託契約はNapa Japanと締結済(8月)

3. 開発項目

以下の機能を含んだアプリケーションの開発を実施

Shipyard Matters

1. Compartment Definition Check
2. Balancing Tool
3. Summary Table
4. Improvement of Existing Shipyard Applications

Class Matters

1. Protection of Fuel Oil Tanks (MARPOL 12A)
2. Strength Summary List
3. Improvement of Allowable Mass Chart
4. Improvement of Existing ClassNK Manager

4. 会合実施状況

1. 第1回会合(神戸) : 2012年4月11, 12日
2. 第1回テストセッション(神戸) : 2012年11月7, 8日
3. 第2回会合【中間報告】(神戸) : 2012年11月9日
4. 第2回テストセッション(神戸) : 2013年4月23~25日
5. 第3回会合【最終報告】(神戸) : 2013年4月24日



第1回全体会議



第2回全体会議

上記以外はE-mailにて随時協議実施

5. 会合での主要決定事項 (1)

①プロジェクトリーダー及びサブリーダー

開発作業を円滑にするため以下のリーダーを設置

- プロジェクトリーダー: 桑原氏(川崎重工業)
- サブリーダー: 平山氏(新来島どっく)
- サブリーダー: 島田氏(今治造船)
- サブリーダー: 大前氏(川崎重工業)
- 船級関連リーダー: 高本氏(日本海事協会)

②開発項目の抽出

- 各参加者から得られた要望項目より本年度は3.で述べた船級関連を含む8項目を開発。

5. 会合での主要決定事項 (2)

③開発プログラムの配布先

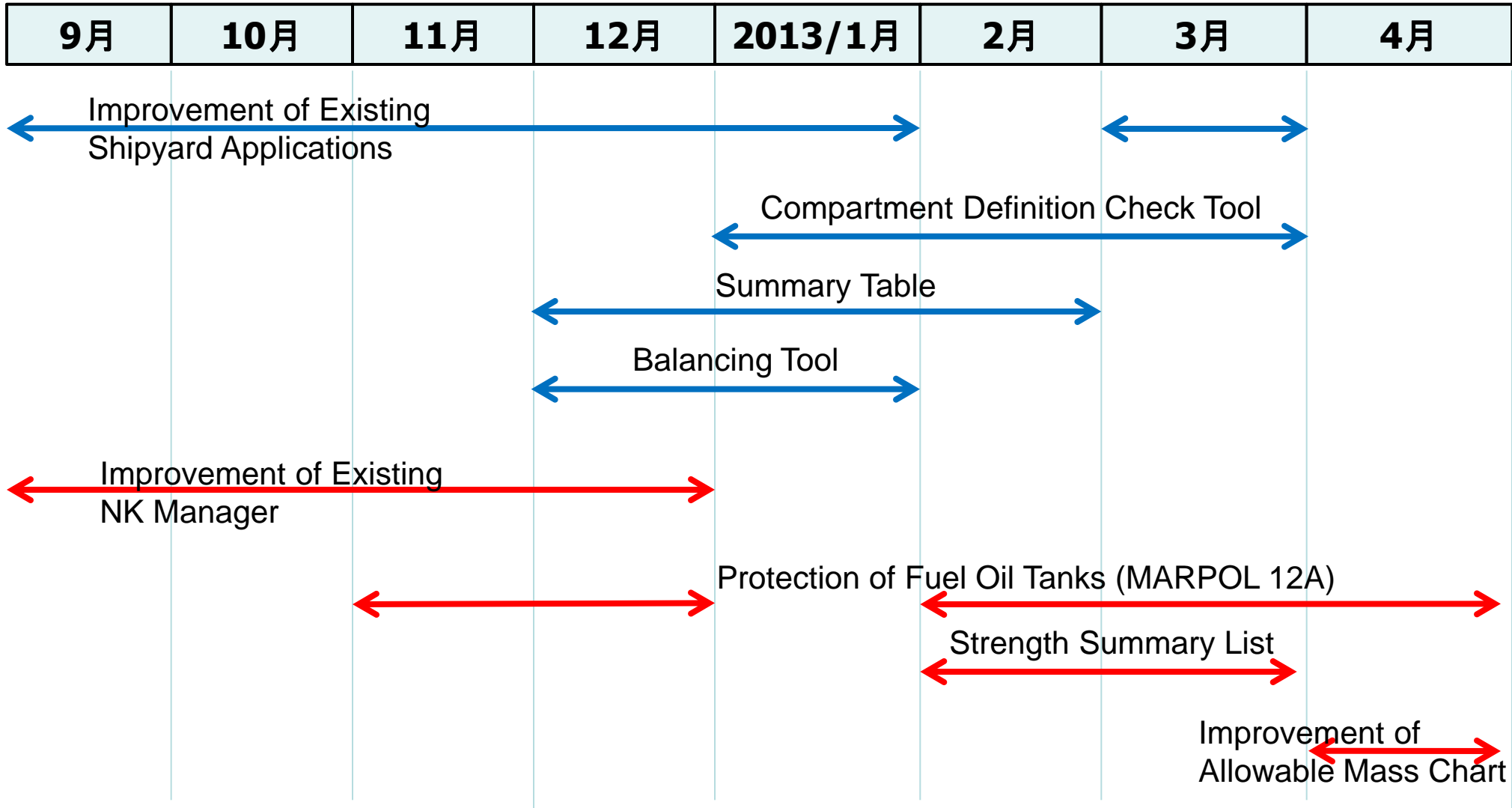
- 2013年度におけるNAPA正式リリース後、2年間は、本研究参加者のみとする。但し、船級関連については、ClassNK Managerのすべてのユーザーに配布。
- 2年後以降は、ClassNK Managerのすべてのユーザーに配布する。
- ライセンス管理はClassNKが行う。

④開発プログラムのソースコード配布

- 本研究参加者で希望者にはソースコードが配布される。但し、配布されたソースコードを利用もしくは改変の使用は、各社内での使用に限る。

6. 現在の開発進捗状況

↔ Shipyard Matter
↔ Class Matter



7. 開発の成果

1. 本開発により、実務作業を効率良く実施可能とするアプリケーションツールが作成された。
2. 実務者の視点での開発であったため、より使い易いツールとなり、NAPAに精通していない実務者でも使用可能となった。
3. 各社個別で行う必要があったカスタマイズが不要となり、実務者の負担が格段に軽減された。
4. 日本の造船各社の基本計画担当者の情報交換が活発となった。

8. 最終報告

1. NAPAより、アプリケーション(添付DVD参照)を受領。
(2013年4月17日)
2. 本アプリケーション検証作業終了。(2013年4月25日)
3. 本研究開発は2013年4月を以って終了する。

以上